

Q12 変更した後発医薬品を先発医薬品へ戻した事例及び後発医薬品を先発医薬品に変更した事由はどのように活用していますか、また、このリストに基づいて先発医薬品に戻した後発医薬品はありますか、あればそのリストと理由を教えてください。

区分	記 載 内 容
病院	(注射剤)パートランPB0.5%10ml、5ml注→キシロカインポリアンブ0.5%10ml、5ml注、不良品(破損品)に対するメーカーの対応の悪さ、又、医薬品に対する認識の甘さ(メーカー対応)による不信
	湿布を後発品採用したが、使用感が違う(すぐはがれてしまう)と患者よりクレームが付き変更となった。ホスミン500Tab→ホスミンcap500に変更したが、Capが大きすぎると言う事で元に戻った(Tabですと1/2でpoできたのですが…)
	ニチエネット→ユベランカプセル100(製造中止のため)
	後発品を先発品に変えた理由は後発品の発売中止などがあります。
	後発品が販売中止になったとき代替りの後発品を選定する時に患者からのクレームや変更などの要望があると先発品も後発品も(両採用)となってしまう可能性があるため、このリストに載っているものには変更しないよう注意している。
	患者さんの意向、または望まれていることを知るうえで参考になる。
	たまに先発医薬品に戻してほしいという患者さまがいらっしゃるのを参考にしている
	銘柄選定の参考
	後発品の採用時に参考としている。明らかに後発品から先発品に戻る可能性が予測される例等
	疑問に思うことがある時のみ
	現在Q12に対してリストは利用していないが、可能であれば変更した理由と当該医薬品名を記載してもらえとリストの利用価値が上がると思われます。
	先発に戻した事例とその理由という形式になっていると参考になったと思うが、別々では参考にならない。
	後発医薬品を採用するに当たり、検討指標となる。
	活用は特にしていないが、新しい後発品を選ぶ時は参考にすると思う。先発に戻した医薬品はなし。
	薬局
薬剤採用の際及び薬剤見直しの際に活用。このリストで後発→先発に変更した薬はありません。	
薬剤別でない為あまり参考にならない。	
参考にならない。	
アダラートL(20)→トーワラートL(20) 変更後少し血圧が上がった気がしたので、アダラートL(20)に戻す。しかし後日再びトークラートL(20)に患者より変更希望あり	
アムロジピン(5)「DSEP」→ノルバスク(5) 血圧上昇 ゼフロプト(5)→オパルモン ヒートから錠剤出しにくい	
アムロジピン(あすか)→ノルバスク5mg 効果不十分(血圧上昇) スリノフェン→ロキソニン 効果不十分 タケプロンOD15→スタンゾームOD15 味が悪い	
アムロジン(5)→アムロジピン(5)→アムロジン(5) タケプロンOD(15)→ランソプラゾールOD(15)→タケプロンOD(15)・・・味が悪い為 レンドルシンD→レндеムD→ レンドルシンD・・・効きが悪い気がする	
イトラート→イトリゾール 効果少ないと思われる	
ウビロン錠(サワイ)をウルソ錠(田辺三菱)に戻した →処方医が患者に先発の方がいいのではと話をした。(処方せんは変更不可ではない)	
オメプラゾール20mgSW→オメプラール20mg(この方が効く気がするとの事)	
外用薬について、使用感等の評価が定まらず、患者からの情報をあてにせざるを得ない。 ツロプテンテープ→ホクナリンテープ(貼り付きが悪い)	
ガスターD・・・効かないような気がするとのこと その他 安定剤 眠剤が多い	
カソデックス→ビカルタミドにしたら、女性化乳房がひどいとのこと。PSAの下がりが悪い為、カソデックスにもどした	
カバサール→GEでSE多い為	

区分	記載内容
薬局	ガモファーD20→ガスターD20吐気むかつき パテルテープ20・40→モラステープ20・40はりごち ツロブテロールテープ0.5・1・2→ホクナリンテープ0.5・1・2はがしにくい
	ガモファーD20mg→ガスターD20mg 味がまいち
	カルデナリン(2)→本人いわく血圧が下がらないから オイグルマン→DrいわくSU剤は血糖降下に不安がある タナトリル(5)→ジェネリックに変えないで欲しい ノルバスク(5)→血圧の変動がある為
	患者の安全性の確保のため使用している。 ケンタン→ロキソニン ポルマゲン→ポルタシン 効かない
	患者から気分が悪くなった。Drより先発品に戻すよに言われた。 味・大きさが違う。尿の出が悪くなった。効果不十分等
	患者からの申し出が無い限り1品目ずつ変更していく(原因が分からなくなる) ロマールテープ→モラステープ 貼りつきが先発品の方が良い
	患者の希望により戻した アムロジピンOD「あすか」 カデメジン2 ファムチジンD「サワイ」 セレガスロン2 →先発アムロジンOD5 カ ルデナリン2 ガスターD20 ガスロンNOD 理由体がかゆくなった ベニジピン塩酸塩4「サワイ」→コニール4 アムロジピン2.5「あすか」→アムロジン2.5 テノーミン25→テノーミ ン25 理由血圧が上がってきたため
	血圧の薬をGEに変更したが、BPがかえって高くなってしまった。テオフィリン製剤をGEに変更したが、長期 の効果なく元に・・・ メフェナム酸をGEにしたら痛みは取れず、胃障害出現 PPIをGEにしたら朝Nに服 用した薬がタNには気持ちが悪くなった
	血圧変動により、Drからの要望で、先発品に戻すことあり (ベニジピン(4)「日医工」→コニール(4)へ)
	降圧薬コリネールCR 血圧が下がりすぎフラついた
	効果が弱いと患者より申し出あった。ロキソニン→ロキペイン
	情報収集し、その医薬品が出ている患者を追跡した元に戻らないか注意する。 ロルフェクミン→ロキソエン
	数年前クレメジン細粒のジェネリック薬に変更したところ、吸着炭の形状など均一でなく効果も落ちるとい 情報が出てきて先発品にもどした(「マラン」の商品) その他テオスロー(100)→テオドール(メーカー回収)
	先発品へ戻した事例と変更事由が、各医薬品に対応していないので、活用したいない。確認した程度 スタンゾームOD15→タケブロン15 錠剤の大きさと味に抵抗感あり アロチーム50→ザイロリック50 アロチームの味で吐気
	チザニン→テルネリン(効いている気がしない)
	ツロブテロール2mg「HMT」→ホクナリンテープ2mg かぶれの為 他にもこのような事例があるかわかった
	デゾラム0.5をデパスに変えた デゾラム0.5gが効かなかったということで変更
	デゾラム錠0.5mg→デパス錠0.5mg デゾラム錠1mg→デパス錠1mg
	ナーカリシン→値の上昇
	ニフェジピンCR20「サワイ」→アダラートCR20 アロシトール100→ザイロリック100 便秘になった
	バツブペリン(20)→バツブフォー(20) 効かない気がする
	ハルスローODをハルナールに戻した 夜間のトイレの回数が増えたため
	ヒアレン点服剤→ティアバランス点服剤 本人の意志(患者の使用感で)ティアバランスからヒアレンに変更
	変更したことにより体調に影響があったかどうか。 ユーパン→ワイパックス効かない気がする パルレオン→ハルシオン効果が短い
	変更を勧めるときに、簡単、に可能性があることは患者に説明して理解してもらっている。 アムロジピン「サワイ」→ノルバスク(気分が悪くなった)
	ボグリボースOD(0.3)「MEEK」→ベイスンOD(0.3) ざらざらした感じがあり不快とのこと フェノフィブラート(寿)→リピディル ヒートがとてもしりずらく使いづらい

区分	記 載 内 容
薬 局	ポラプレシク→プロマック(湿疹が出来たような気がする) ビカルタミド→カソデックス(効果がないような気がする)→検査値は変動なかった ハルスローOD→ハルナール(効果がないような気がする)
	メバロチン→GE→下痢→メバロチン アダラートCR→GE→効果低い→アダラートCR
	モーラステープ→ケトプロフェンテープ→タッチロンテープorモーラステープ 使用感の違い
	モーラステープ→パテルテープ 使用感等
	モーラステープ→レイナノンテープに変更 貼り付くが悪く、モーラステープのに戻る
	ユリノーム→ナーカリシン ナーカリシンにて発疹・ほてりがありユリノームに戻した
	ラタノプロスト点眼薬→キサラタン点眼薬 容器の違いで液の出方が違うと言われた
	リマプロストアルファデクス製剤→先発品 痛みの軽減、症状がなくなったとの理由から
	リントン細粒→セレネス ゴパン0.5→ワイパックス0.5・効き目がない メディビス0.5g・効かない ニバスの方が良かった
	ロキソニン→ロキソプロフェンNa「タイヨー」 苦味が強い
	ロブ60mg→ロキソン60mg体にかゆみが出た スタンゾームOD15→タケプロンOD15 味が悪い
	ロマールテープ40→モーラステープ40 はがれてしまう
	ロマールテープを貼って赤くなってしまったということで、先発品のモーラステープにもどした
	新たな後発品採用時の参考になっている。 3件
	後発品を新たに選ぶ際の参考になっている 2件
	先発医薬品から後発医薬品に変更する際の参考
	後発医薬品を選定する際の参考として活用している
	先発→後発の参考に
	今後新たに採用品を選定する際に参考としたい
	今後の後発医薬品採用にあたり、参考にしている(採用を控えたりする)
	個発医薬品を選定する時の参考として活用している
	採用するジェネリックを選ぶ際に参考にしている
	採用するに当たってはマイナス材料として考える。既採用については注意点。ひどい事例については、採用を変更している
	ジェネリック医薬品を選択する際、このリストの中の薬は極力さけるようにしている
	患者個々に反応は違うので、リストに基づいての変更はない。事例として参考にする
	事例の医薬品については、後発品に変更するのを、あまり勧めない。シッフ薬と目薬
	患者の個別の事由により対応する為、リストに基づいて戻すということはしていない
	後発医薬品を採用する際の参考資料にしている
	次回来局時「変更後の」の確認に利用している
	事由の内容により、問題のありそうな例であれば、採用の参考にしています。戻した例はありません
	選択に迷った場合、リストに多く採用されているものを選ぶ
	先発に戻した事例の多い医薬品については、後発品の変更を勧める際に考慮したいと思うが、このリストでは頻度が分からないため判断しにくい
	当局で新規に後発医薬品を採用した時、戻した事例を考慮して考えている
	何かあった時の為、勉強会を局内でしている
	なるべく避ける
	なるべくそういう薬は先発品のままにしておく
	なるべく違う医薬品を後発品へ変更するようにする
	もどした医薬品は選択しないようにした
	問題事例の多い薬剤は採用しない
	リストに出ている後発品に優先順位を下げている

区分	記 載 内 容
薬局	後発品を選ぶ時に、このような事例を見ておくと、実際に変更した時に患者へのデメリットの事例を減らせることができる。
	多くの事例があり、使用者の主観が大きく働いているので、変更後もしっかりフォローしなくてはいけないと感じている。リストに基づいて先発品に戻していない
	患者から、戻した旨の申し出があった時などに活用できる。参考になる情報だと思う
	かなり多くの事例報告があり、参考にさせて頂いています。
	後発医薬品に不満を感じている患者がいるかを見つげるときに参考になる
	いろいろな理由があるのを、知っておくことはいいことだと思う
	他の患者にも事例はお知らせして、選択肢にいれてもらっている
	日々の業務の折、患者と対話する時に、情報として、頭に入れておく
	リストに基づいて先発品に戻した事例はないが、当薬局で採用している品目に選考事例が無いが、あればどのような事由なのかをチェックしている
	リストを特別何かに活用しているというわけではないが、「2錠ずつの折り目が無く使いづらい」「名前が安っぽい」などという理由で先発品に戻す患者もいるのだと改めて考えさせられた。後発への変更は慎重に行おうと思う
	リストを見ながら戻した後発医薬品については、留意している
	事例をできるだけ把握しておく(特に循環器系処方薬)
	新規後発変更時の服薬指導時、頭に入れて話すようにしている
	先発にもどした理由を頭に入れておいて、変更後の来局時に活用している
	当薬局にても同じような例があり、参考にしながらGEへ変更。
	当薬局の事例の比較をしている
	特に外用薬での使用感の指標
	どの医薬品でこういった症状が出たか分からないが参考になった
	どのような事例があるかを把握する為に利用
	変更後、患者に確認する項目として参考になる。
	変更時の服薬指導時に患者に情報として伝える
	戻した理由で、どのような主観的なものがあるか参考にしている
	「変更した事由」=「患者が不安に思うこと」だと思うので、そのことをきちんと説明するように心かけている。効果に不安を感じたり、副作用が出た時は、先発品にもどしている
	OD錠など、味や服用間が気になりやすい剤形は、患者に「味は気になりませんか？」などの声をかけるようになりました。
	OD錠の変更は、味の関係で、難しいかもしれない様な気がする
	形や色や味、包装の違い。包装などもなじみのないものであるため、患者には十分の説明が必要だと感じた。
	吸収動態の変更により、特に用量切り替えで有害事例が発現しやすいもの、可能性があるものは、先発のまま調剤
	外用剤、貼付剤は使用感があるので変更は参考になった。後発医薬品に対して不安があると、心理作用で効果が弱くなったと感じてしまう。いかに安心して服用していただけるか、説明をしっかりとっていく必要があると実感した
	患者が必ず納得した上で、変更を行うことを心かけている
	患者からの聞き取りを重要と考えています。リストに基づいて後発から先発に戻した事例は無い
	後発品→先発医薬品になったさまざまな理由が理解できた
	後発品に何か問題があったのではないかとといった認識
後発品へ変更した患者のフォローアップの参考に活用	
事例があることで、採用後発品の再評価ができ、また、他の後発品への変更できる可能性があることも気づいた	
後発変更後に患者に取り出しやすさ、とけやすさ、飲みやすさなどの変化を質問するようになった	
こちらで採用している後発品で、リストに載っているのがあれば、確認している(参考のため)	

区分	記 載 内 容
薬局	使用頻度の少ないと思われるジェネリックで、変更が多いものはさけてます。アムロジピンなど多くの方が服用されている物は、先発品へ戻される方も多いと思うので、ジェネリックの品ごとの変更%があれば良いかとおもいます
	違いの大きいものは選択の候補から外す
	後発品に変えた際にPTPが硬くて出しにくい物や、錠剤が大きくなるものを説明するようにしている
	注意事項としての説明
	注意しておく。気にとめておく
	変更事由を参考にして患者と接して行きます。
	一旦は変更したが、血圧と心臓の薬は心配なので、やっぱり変更しないとされた
	価格とメーカーを考慮する。リストに基づいて後発に戻したことは無いが、今まで処方で使用されていた先発品に戻した事例はある
	同じ薬が処方された場合に、患者への説明の中で一言付け加えておくようにしている。先発に戻したことなし
	同じようなケースがあれば、参考にしたいと思う
	該当医薬品を後発医薬品に変更する為に患者に説明する際に、特に気をつける事を考えながら説明する
	外用剤は使用感の違いがあるので、患者と話をしても後発品という以外には変更していません
	後発医薬品を先発医薬品へ戻した事例はあるが、このリストに基づいてはない
	患者からの申しでる他は、変更しないので、活用していない
	先発品に戻した一番の理由は患者の希望 数例ではあるが医師より先発品に戻したいとの要望によるもの
	体調の変化は無かったが、先発品に変えて欲しいとの希望により、
	特定の患者さんで第三者(知人、友人)から後発品は先発品より劣ると言われて(入れ知恵?)薬剤の効果や副作用とは全く関係なく先発品に戻したケースがある
	飲みにくさ、取り出しにくさ、はがれやすさ、等について使用したい方へのどうかの確認チェックし、不都合でなければそのまま使用していただく
	副作用出現 効果ない場合
	服薬は先発に戻りやすい
	リストに基づいて自主的に後発医薬品にもどすことはない。患者からの申し出で戻す際、患者の言い分「そういう事例があった」と納得する程度。主な理由は貼付剤で「貼り心地が違い不快」「GEに変えたらかぶれるようになった」その他「見かけ・色が変わって混乱する」等
	知識として覚えておく程度、戻した薬品はない
	戻したということは、効果がなかった・副作用が出たという方なので、そういう方には、変更をおすすめしない旨、薬歴に記入しておく
	薬局内での情報提供の際に留意するようにしている。 二度以上事例が出たものは採用を取りやめるようにしちいる
	リストに基づいた訳ではないが、同じ理由で戻した事例はある
	医薬品名称と変更事由がリンクしていない為、活用は難しい。(分かりづらい) 6件
	「理由」と「医薬品名」が結びつかないので活用していない
	一応の参考になるが、先発→後発への数が多ければ逆もまた多いただろうし・・・ 何のどこがどうなのかかわかればと思う
	個別に対応しているので活用できない
	各事例がそれぞれどの事由により変更されたのか関連づけられたデータではないため、リストは参考になるが、活用するまでに至っていない
活用できていない	
患者各々感想が違うので参考にしていない	
具体的な販売名が出ていない為、あまり参考にならない。せめて先発品の名前だけでも入れて欲しい	
具体的にこのジェネリックの何が理由で先発品に戻したかが分かれば、大変参考になると思う	
どの医薬品の事由が分からないので具体的には参考にしていない	
事例と事由が対比してないと参考にしづらい	

区分	記 載 内 容
薬局	製品と変更理由が対になっていないので、活用までは出来ません。理由は「一般的なもの」として参考にして
	いる 先発に戻す事項が出た場合、個々に対応している。変更事由も個々の薬品に対応していないので具体性がなく、全体的な感じをつかむくらいにとどまっている点が残念です
	先発品に戻した理由をただ羅列しただけでは、どの薬剤に関しての事由か、不明なため参考になら無い
	どの薬がどの理由で変更になったか分からないので、あまり活用できない
	どの後発品がどの理由で先発品に戻されたかが分かれば利用できる
	どの薬がどの理由でというリストにして欲しい。どの薬がどの理由で先発に戻したのか分からないと参考にならない
	変更した後発医薬品が先発に戻ることは、患者との信頼関係にも重要です。外用薬や内服薬の剤形・使用感・臭いなども参考にして。もう少し具体的な事例があればもっと良いと思う
	変更事例と変更理由がリンクしていれば、普段患者のやりとりで、注意をすることができると思う。そのため、現状では、リストと理由より先発医薬品に戻した後発品はない
	見にくい
	戻した事由と関連した医薬品がリストになっていれば活用できる
	戻した薬品と理由を関連させた表になれば、もっと参考になると思う
	リストと理由がリンクしていないので、活用には至っていない
	リストのむでは、背景が不明で全く参考になりません
	理由が一件のみか多数あったのか知りたい。変更した医薬品理由ともに
	理由の羅列で、どの後発医薬品が該当するのか、また先発品の後発品全体に問題があるのかはつきりせず、あまり参考にならない
	これから活用してみたい
	採用品の参考にする。先発医薬品に戻した後発品はない
	参考程度 2件
	参考になるが、他はまだ。
	閲覧したのみ
	変更した理由がすべて該当するわけではないので、目を通す程度です
	リストに目を通した程度
	処方医の指示及び患者からの要望を尊重しているので、上記事例および事由を直接活用することはほとんどない
	基本的には自局の推奨後発品リストに基づき、患者個々に応じた対応としているので、リストに基づいて変更ということはないし、特に活用していない
当局ではJ→後発品の変更は今までも例もない	

* 同じ回答はまとめて記載し、回答件数を記載してあります。